

金澤町家だより

【第 53 号】

2026. 1



【編集・発行】NPO法人金澤町家研究会／広報交流部会

■金澤町家巡遊 2025「柿木畠～里見町・茨木町界隈／SDGs 金澤町家」開催しました。

毎年秋の恒例イベント金澤町家巡遊。今回のテーマは「柿木畠～里見町・茨木町界隈／SDGs 金澤町家」として、金沢市役所第二本庁舎前で開催の“KANAZAWA SDGs フェスタ”（主催：IMAGINE KANAZAWA 2030 推進会議）に加わり、10月5日（日）に開催しました。同会場でNPO法人金澤町家研究会ブースでは関連グッズの販売や、ティースタンド茶龍（さろん）の協力により、オリジナルブレンドの紅茶葉の販売、金澤町家に関する情報発信を行いました。また「自然・生物多様性・庭園」をテーマとして、里見町界隈や菊川界隈の町家や町並みを巡るツアー、庭師さんのレクチャーによる関守石作りのワークショップを行いました。

会場から程近い金澤町家情報館（茨木町）では、当会の奥村理事により一日限定で秋の室礼をしていただき、多くの方が来場くださいました。

ご協力くださったみなさま、地域のみなさまに感謝申し上げます。

►金澤町家巡遊サイト <https://kanazawa-machiya.net/mj/now/>



■「彦三町家」でティースタンド茶龍（さろん）によるカフェ営業

11月22日（土）と12月21日（日）に、NPO法人金澤町家研究会の拠点町家「彦三町家」にて、町家巡遊でも協力いただいた「ティースタンド茶龍」によるカフェ営業がありました。

「茶龍」は店舗を持たず、主に金沢の空き家や町家、店舗の片隅などで営業する移動式のカフェです。店主・東龍太郎さんの選りすぐりの珍しいブランドや種類の茶葉を中心とした紅茶や中国茶から、好みに合わせて淹れてくださいます。彦三町家の和室でゆったりと時間を忘れて過ごすことができました。今後も彦三町家の出張カフェを予定しています。町家空間でひとやすみしませんか？

★最新の営業情報は「茶龍」Instagramよりご確認ください。

https://www.instagram.com/sa_long.tea.dragon/



■「金澤町家塾」金澤町家探訪を開催しました

金澤町家情報館の開館以降、同館の利活用も兼ね、毎年、NPO 法人金澤町家研究会が協力し「金澤町家塾」事業を実施しています。金澤町家探訪は、昨年に続き実際のまち歩きを企画し、10月 25 日(土)に増田達男金沢工業大学名誉教授のガイドにより「里見町・水溜町界隈」を探訪しました。迷路のような裏通りを歩き、町家や歴史の名残り感じさせる遺構を多く見つけることができました。



■防災・耐震セミナー2025 「金澤町家を引き継ぐために - 町家の特性と耐震補強 -」

今年度、「金澤町家防災・耐震セミナー事業」を金沢市より受託しました。本事業は令和 6 年能登半島地震を受け、あらためて伝統構法による建物の耐震性や防火性、伝統的な建物の居住性の向上について考えるもので、当研究会の企画により専門家によるセミナーを 2 回開催しました。

1回目は 10 月 24 日(金)13 時半より金沢市役所第二本庁舎・研修室にて、宅地建物取引業に従事する方を対象とし、当研究会理事の武藤清秀氏(むとう設計有限会社 代表取締役)を講師に「金澤町家を引き継ぐために - 町家の特性と耐震補強 -」と題し講演いただきました。2回目は、12 月 6 日(土)には金澤町家情報館(茨木町)を会場にオンライン配信も併用して一般市民向けに同講演を行いました。

【講演概要】

«前半»古写真や柱の痕跡などから金澤町家を当初の姿に戻す復元的な改修事例や、道路拡幅により曳家をして改修した事例など、武藤氏がこれまでに改修設計に関わられた事例の紹介。伝統的な建物の耐力壁として有効な面格子壁の解説など。

«後半»wallstat(ウォールスタッフ)ソフトを使った耐震シミュレーションにより、金澤町家情報館等を例に、1995 年阪神淡路大震災や 2024 年能登半島地震といった実際に過去に起きた地震波を入力し、建物が地震の揺れにより変形する様子をシミュレーション動画にて解説。いずれの場合も耐震補強後の状態では倒壊しなかった。

«まとめ»耐震シミュレーションをすることで、既存建物を調査すればするほど正確さは増すが、時間とコストも上がるため、どこで割り切るかは物件の背景や条件により現実的に判断し、設計者等との相談が必要。構造的に古いだけで危険、石の上に建っているから危険ということではなく、逆に固定する方が上部構造に悪い影響を及ぼすこともある。表構えやその町家の特徴的なところを完全に無くしてまで町家を直して価値があるかというとそうではない。良い所はできるだけ残し、改変して現代の生活に沿って快適でなければいけない。

参加者には町家所有の方も多く参加され、改修や活用に関する不安や疑問などの質疑応答を行いました。

►報告書全文 <https://kanazawa-machiya.net/efforts/seminars/>



曳家の事例 A邸

■広報誌「金澤町家だより」バックナンバー

広報誌「金澤町家だより」の既刊号(バックナンバー)は、Web 上での閲覧が可能です。

金澤町家研究会サイトトップページ→「金澤町家研究会」→「「金澤町家だより」バックナンバー」より

►広報誌「金澤町家だより」バックナンバー <https://kanazawa-machiya.net/about/newsletter/>

N P O 法人

金澤町家研究会

【お問い合わせ】 事務局

〒920-0854 金沢市安江町 4 番 20 号

Tel. 076-254-0647 / fax. 076-254-0657

E-mail kanazawa-machiya@nifty.com <https://kanazawa-machiya.net>